



クマ出没特別警報発令中
県内ではクマによる人身被害が相次いでいます。市内でも10月27日に人身被害が発生しました。
そこで、★未収穫の野菜や果実などを放置しない、★クマの出没が確認されている場所には近づかない、★単独行動を避ける、★音の鳴るものを携行するなど、クマによる人身被害に逢わないよう十分警戒しましょう。

国交省に向けて要望書を提出

保倉川放水路整備促進議員連盟

保倉川では、洪水防止のために効果ある対策が早急に求められています。市議会保倉川放水路整備促進議員連盟(全議員で構成)は、10月27日に国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所長あてに、次の要望書を提出しました。

要 望 書

保倉川放水路整備の早期着手について

関川水系の河川はこれまでも度々大きな水害に見舞われており、とりわけ平成7年7月に発生した未曾有の出水では、流域全体にわたって甚大な被害を受けました。

これまで、国・県から激特事業などの改修事業を進めていただき、氾濫被害の軽減策が講じられてきましたが、未だ保倉川では十分な治水安全度が確保されていないため、毎年のように台風や集中豪雨による浸

上越保健所管内感染症発生状況
(10月24日現在)

PCR検査実施件数 1,665件

感染症患者数 14人(上越市内13人)

陽性率 0.84%

日本共産党上越市議員団ニュース
No.680 2020年11月1日

連 橋 爪 法 一 090-5392-1961 (吉川区代石)

絡 上 野 公 悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

先 平 良 木 哲 也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

水被害が発生する状況となっております。
保倉川下流域では、国道8号や国道18号などの交通網が整備され、宅地開発が進むとともに、大規模な工場や事業所が集積する市の重要な生産拠点でもあることから、地域住民の生命・財産を守るとともに、市の経済活動や今後の発展のためにも、抜本的な治水対策である保倉川放水路整備の早期着手について要望します。

令和2年10月27日 保倉川放水路整備促進議員連盟

今後の議論の進め方で激論に

市議会人口減少対策特別委員会

人口が目に見えて減少している上越市にとって、減少に歯止めをかけるための施策の実行は喫緊の課題です。下の表は、市が作成した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に掲載されている人口推移の表です。
市議会でも2014年から特別委員会が組織されて継続して政策研究や提言を行ってききましたが、顕著な成果を生み出せる状況にはなっていません。
今期の市議会でも、新型コロナウイルス感染拡大対策に力を集中してきた時期を経て、9月にこの問題での特別委員会が組織されました。10月26日には実質2回目となる委員会が開催され、9月29日に引き続いて、「今後の議論の進め方」が話し合われました。
議論では、「来年度予算の編成時期であること」を踏まえて、緊急課題についてすぐに提言すべきだ」とする意見や、「過去の提言内容がこれまでの市の施策にどのように反映されているのか検証し、反映されていないものや、新たな課題も含めて提言すべき課題を整理すべきだ」とする意見が出され、激論となりました。今後の議論の行方

【図表 14 主な年齢区分別に見た上越市の人口推移と推計一覧】

値	年		総人口	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	高齢者人口 65歳～	後期 高齢者人口 75歳～	(単位:人)	
	和暦	西暦						20～39歳の 若年女性 20～39歳	高校卒業者 を含む年代 15～19歳
実績値	S35	1960	234,673	77,055	143,293	14,325	4,330	34,447	20,646
	S40	1965	227,512	62,245	150,404	14,863	4,518	32,450	25,233
	S45	1970	217,679	51,917	148,571	17,191	4,809	31,651	20,524
	S50	1975	214,309	49,228	144,106	20,974	5,769	29,810	15,450
	S55	1980	216,320	48,188	142,818	25,314	7,793	28,617	14,058
	S60	1985	216,348	45,455	141,856	29,032	10,228	27,504	13,933
	H2	1990	212,248	40,003	138,047	34,191	13,217	24,477	14,492
	H7	1995	212,060	35,352	136,095	40,613	15,989	23,510	13,365
	H12	2000	211,870	32,364	133,142	46,308	20,319	23,739	11,558
	H17	2005	208,082	29,917	126,491	50,341	25,415	22,635	9,878
	H22	2010	203,899	27,584	120,754	53,542	29,102	20,845	9,025
	H27	2015	196,987	25,048	111,997	58,970	31,052	18,269	8,872
推計値	R2	2020	189,393	22,959	104,053	62,381	32,865	16,351	7,984
	R7	2025	180,961	20,849	97,717	62,395	36,733	14,892	7,330
	R12	2030	172,017	19,090	91,775	61,152	38,646	13,727	6,617
	R17	2035	162,726	17,480	85,225	60,021	38,123	12,556	6,154
	R22	2040	153,020	16,188	77,115	59,717	36,602	11,373	5,493
	R27	2045	143,032	14,919	70,098	58,015	35,306	10,380	5,079

に注目していきたいものです。
党議員団は
独自に提言を計画
この特別委員会には、日本共産党議員団からは委員を出していません。そこで、議員団としては
独自に提言をまとめるの委員会や行政への働きかけをしていく必要があります。
現在その議論を開始したところですので、後日まとまったものをお知らせいたします。